



■ 「マンスリー北京 JAC」第 250 号に寄せてー運動とメディアー…………… 2

北京会議の翌年の 1996 年に創刊されたマンスリーは 250 号を迎えました。社会学者でメディアがご専門の村松泰子さんから 250 号に寄せて、運動体のメディアであるマンスリーの社会的・歴史的意義について示唆に富むメッセージをいただきました。

■ 菅政権とジェンダー平等政策

ー「自助」では女性の SOS には応えられないー…………… 3

コロナ禍で居場所のない女性、自殺者が急増しています。菅政権の強調する「自助」で問題は解決するのか、内閣府男女共同参画局の新たな動きの紹介を含めた船橋邦子さんによる問題提起です。

■ 11・9 選択議定書批准を求める請願提出集会…………… 4

国会開会中の 11 月 19 日、院内集会が開催され衆参両院議長への要望書、2 万人を超える署名が提出されました。OPCEDAW アクションの堀江ゆりさんにご依頼し報告していただきました。

■ パンデミックの中での SDGs の取り組み

ー世界の動き・日本の動きー…………… 5

国連で SDGs が採択されて 5 年。コロナ危機の今こそ SDG と「SDGs 市民ネットワーク」のリーダー稲葉雅紀さんをお迎えて 11 月 26 日、オンラインによる学習会を開催しました。黒見節子さんのまとめです。

■ 女性差別撤廃条約批准から 35 年ー何がどう変わったか?ー…………… 7

国際女性の地位協会が 11 月 22 日に実施した「CEDAW 批准後、何がどう変わったか? 課題は?」をテーマとするシンポジウムの豊富な内容について加藤登紀子さんの報告です。

■ 「北京+25」シリーズ⑨

私の北京世界女性会議後の 25 年…………… 9

北京会議を契機に、地域で DV 女性と子どもの支援活動を始めて 19 年間、現在に至るまで無我夢中で走り続けてこられた小柴久子さんの山口県からのメッセージです。

■ オンライン学習会のお知らせ、世話人会報告など…………… 10